2023 年（令和 5 年）4月 1日
くげぬま探求クラブ

会報 くぐひ

第 113 号（春号）

◇　くぐひ（鵠）は白鳥の古い呼び名。鵠沼には昔たくさんの白鳥が飛来したことによる　◇

新世話人体制発足と新年度の展望

誇りある 30 年の歴史と伝統を受け継ぎ、バトンをつなぎます

新世話人代表　坂口 純則

入会 2 年目の新人が代表に選出され、まだ実感がありません。70 才定年後、地域でどう生きていくのか模索していたところ、くげぬま探求クラブと出会い、充実した 2 年間をすごしました。楽しいメンバーに出会い、そして多くの部会活動に参加し、本当に素晴らしいクラブだと実感しています。世話人代表に選出されたからには、前代表の大木さんを見習いながら、精一杯その職責を果たしていく所存です。幸い、今回世話人に選出されたメンバーは、日頃から馴染みのある人ばかりで、また世話人経験者もおり心強い限りです。

当クラブの根幹は部会であり、部会長が要です。世話人は、その名のとおり世話役であり、全体の運営がうまく回るようにお世話をする係だと認識しています。

当クラブには、権威主義的な要素は一切なく、皆が自由に、そして自主的に参加している居心地の良い集団だと思います。これは「会社人間から社会人間へ」という理念の下に、先輩諸氏が試行錯誤しながら積み上げてきた歴史の賜と思います。今年は記念すべき30 周年を迎えますが、歴史を振り返り、現状を俯瞰するのもいい機会だと思います。

平均年齢は 10 年前の 70 才から 80 才になったようですが、これも時の流れです。70 才まで働く時代になってきましたし、健康寿命も延びているのですから、平均 80 才ぐらいが丁度いいのではないかと思います。とりわけ、当クラブのメンバーは元気ですから、今はクラブの活動に支障はありません。10年後どうなるかは分かりませんが、大事なのは、今を生きることです。みんなで楽しく集い、学び、そして少しでも社会に貢献できることを、やれる範囲でやっていければ良いと考えています。これからの　2年間、世話人一同、一致団結してクラブの良き運営に力を尽くして参ります。会員皆様の全面的なご協力を切にお願い申し上げます。

（左から）井上さん、田中（力）さん、柳田さん、坂口さん、池田（修）さん、水野さん

2 年間の世話人を終えて
【旧世話人から一言】

大木 信一

世話人が何かもよく分からない中で、私は世話人代表となった。最初の世話人会で担当を決め、引継ぎ世話人会で代表の役割引継ぎがあった。その後、過去の総会・例会資料やくぐひの記事を読み返して、やるべきことを自分なりに思い描いてスタートした。自ら振り返れば、何も革新的なことはできなかったが、楽しんでやれという先達の教えをモットーに、何とかバトンを引き継いだという感じである。この 2 年間のくげぬま探求クラブ活動は、2020　年から続いた新型コロナ感染症に振り回されてきた。しかし、2022 年秋からはコロナ下での活動再開が徐々に軌道に乗り、何とか世話人としての役割を果たすことができたと思う。世話人会を共に支えて頂いた世話人メンバーに感謝するとともに、会員の皆さんのご協力にお礼申し上げます。

田中 章

世話人として二度目の任務となった今回は、副代表として代表・大木さんの補佐を行うという役割と、総会・例会の司会進行及び出席者確認、総会・例会の議事録作成、会議室の予約、HP 制作部担当等があった。代表の補佐という点については、大木さんが立派にその役割を果たされたこともあり、充分にお助け出来たかどうか自信がなく申し訳ない限りだ。

前回の世話人時も同様であったが、感じたのは世話人の仲間たちの結束の強さだ。2 年の間に一人の世話人が止むを得ぬ事情で退会されたのだが、その他の方々が見事なチームワークで抜けた穴をカバー出来たことはその証明だろう。世話人としての役割を果たす中でいろいろ勉強になったことが多かった。そうした経験をさせて頂いたことと世話人仲間の友情に感謝したい。

森 正孝

我々世話人が選出された 2 年前は、新型コロナウイルスの影響で停止していた部会活動が、徐々に再開を始めかけた時期でした。その後、昨年には公民館まつりやクラブ忘年会も再開されるまでとなり、形は以前とは異なるものの、世の中が動き出しました。前例があまり参考にならない中でしたが、世話人全員が非常に協力的でした。ただ、昨秋に　2　名を迎えたものの、任期中に会員増員が捗らなかったことは残念で、今後に期待します。

私は会計と懇親会を担当しましたが、例会欠席者も含め会費徴収が非常にスムーズであり、忘年会閉会時には全員協力し後片付けが短時間で終了し、会員のモラルの高さに改めて感服しました。本稿作成時には、花見や 3 月決算という大事な業務がまだ残っており、最後まで気を抜くことなく務めます。

岸 保宏

世話人の 1 年目はコロナの影響で引き続き行事催行には我慢が強いられ、世話人としてやりたい事が出来ず、忸怩たるものがありました。幸い 2 年目にはコロナとの共生が始まり、公民館まつりや忘年会など行事や部活動も活発になり、世話人も忙しくなりましたが、代表を始め執行部が若手でフットワークも良く、和気あいあいと楽しく活動することが出来ました。今回は 3 度目の世話人でしたが無事終えてほっとしています。

会員の平均年齢が上がり、数も減ってきた中でも、皆様の積極的なご協力により諸行事が滞りなく進んだことは、さすがに探求の地力は凄いと驚きと感謝でいっぱいです。今年度は 30 周年記念の大きな行事が控えています。出来るだけ参加させて頂きますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

鶴田 貞夫

探求クラブに入会して 3 年目に入会の目的であった農園部会の部会長を軽い気持ちで引継ぎました。あとから責任の重さに右往左往している内に　4　年目になり、クラブ全体の世話人に選出され真剣に自分に務まるか悩んだことが思い起こされます。その際ある古参の会員から「世話人とは文字どおり会のお世話役ですよ、そんなに力まないで会員がクラブの活動を楽しめるように出来る範囲で務めれば良いのです」とのアドバイスをいただき、ほっとしたのを記憶しています。そのアドバイスに従いお世話役として務めを果たし、他の世話人に助けられながら任期を無事終了することが出来、貴重な体験が出来たことを感謝しています。世話人　2　年間の努力目標であったクラブメンバー全員の名前を覚えることが出来なかったのは今後の課題とします。

クラブ創立 30 周年を迎えて

30 周年記念行事委員会委員長　田中 章

本年はくげぬま探求クラブが創立されてから 30 年目の節目となる。この記念すべき年をクラブの全員で祝い、クラブの新たな発展を期する為に周年行事を行うことがクラブ員の総意としてあり、昨年度スタート時に「30　周年記念行事委員会」が発足した。過去の周年行事を経験したベテランからクラブ歴が浅い人まで、8 名の委員が選出され、私がそのリーダーを仰せつかった。記念行事として、クラブ員がこぞって参加出来、楽しめる企画や、クラブのミッションである地域貢献に寄与し得るアイデアを、昨年 6 月の例会で募集したところ、過去の周年行事になかったユニークなものを含め、16 名より30 件もの提案が寄せられた。これらの提案について、参加希望の有無を問うアンケート調査を行い、その結果を参考にして、委員会で記念行事案を整理・絞り込み、10 月の例会で各行事への補助予算案と共に承認を得た。最終決定した行事は以下の通り。また、各行事共通キャチフレーズとして「**鵠沼で活動 30 年、そしてこれから…**」が決まった。

「記念植樹」（各公園愛護会）

鵠沼松が岡公園：3月26日（日）にソメイヨシノを植樹。

藤が谷公園：3月12日（日）に河津桜を植樹。

鵠沼公民館敷地内：金木犀（きんもくせい）を植樹予定。時期未定。（樹木については、環境省が「かおり風景百選」に本鵠沼住宅街の金木犀を選んでいるのが植樹の理由。）

「複数部会合同一泊旅行」（健康部会、企業研究部会）

5月23日（火）、24日（水）に実施予定。初日は藤沢～修善寺～水生地下（電車・バス）、 踊り子街道を歩いて旧天城トンネルを越え、伊豆長岡のホテル宿泊。翌日はめんたいパーク伊豆と伊豆わさびミュージアムを見学。

「鵠っ子スクエア 2023 夏」（子どもと遊ぶ会/おもちゃの病院、鵠っ子囲碁・将棋ルーム、災害研究部会、似歌会）

7 月最終週に公民館ホールで実施予定。出し物は各部会で検討中。

「佐藤九段講演と指導対局」（鵠っ子囲碁・将棋ルーム）

公民館と共催で 8 月 20 日（日）に公民館ホールで実施予定。佐藤康光九段（日本将棋連盟会長）の講演と将棋の指導対局（多面指し）。

「公民館クリーンアップ活動」

公民館まつり後の 11 月第 3 月曜日（休館日）に実施予定。

「健康講座」（極楽部会）

藤沢市、公民館と共催で 9 月 7 日（木）、14 日（木）、21 日（木）に公民館ホールで開催予定。内容については市の福祉部高齢者支援課及び公民館と協議中。

「お祝い食事会」

12 月末または 2024 年 1 月に藤沢商工会館ミナパークで開催予定。

「くぐひ特別号（増補版）発行」

4 月以降原稿を募集。

「公民館希望備品寄贈」

公民館からの希望に応じて実施。

「探求クラブ 30 年のあゆみ」

4 月以降制作予定。

以上、クラブ員の為の行事と地域貢献の為の行事が約半数ずつ、とバランスが取れたラインナップになったのではないだろうか。我々自身も楽しみながら、この一年を意義あるものとしたい。

親睦研鑽部会紹介

探訪部会、健康部会合同行事

「鎌倉七福神めぐり」令和 5 年 1 月 20 日（金）

吉原 正夫

福徳をもたらしてくれる七福神が祀られている寺社を参拝するのが七福神めぐりです。

通行順路順に紹介します。

（一） 布袋尊

最初に訪れた寺院は金宝山浄智寺で布袋尊は中国に実在した高僧で弥勒菩薩の別の姿といわれています。智恵を授け福徳円満の人を作る福神です。

（二） 旗上弁財天

鶴岡八幡宮本殿に参拝した後向かったのが源氏池右の中島にある旗上弁財天で唯一の女性の神です。水の神様、芸能成就、商売繁盛にご利益ある福神です。

（三） 毘沙門天

次の寺院は金龍山宝戒寺（毘沙門天）で、この神様は仏教の四天王の一人で病魔退散、財宝富貴の福神です

（四） 寿老人

妙隆寺の寿老人は人々の安全と健康を守り長寿を司る福神です。

（五） 恵比寿尊

妙厳山本覚寺の恵比寿尊は七福神の中でただ一人の日本の神様です。古く関東では夷尊神と書かれていました。商売繁盛、家運隆盛、縁結び、五穀豊穣の福神です。

（六） 福禄寿

本覚寺から歩くこと約 40 分で御霊神社。福禄寿は南極星の化身といわれ、長寿、家禄永遠を司る福神です。御霊神社には鎌倉湘南地方を開拓した領主鎌倉権五郎景政公の命日とされる 9 月 18 日の例祭日には昔から面掛行列という珍しい行事が行われています。皆様も是非ご覧になってはいかがでしょうか？

（七） 大黒尊天

最後は海光山慈照院長谷寺（大黒尊天）。四季折々の花と由比ヶ浜を一望できる鎌倉有数の古刹です。出世開運、商売繁盛の福神です。

七福神を巡って良い一年が過ごせますように各自いろいろ願い事をしたのでしょう。かなうといいですね。由比ヶ浜の海岸を見ながらの昼飯はうまかったです。

第 17 回地域活動見本市への参加報告

世話人代表　大木 信一

湘南藤沢シニアネット(藤沢市認定 NPO 法人)主催の地域活動見本市が 2 月 4 日(土)藤沢市役所1F ロビーで開催された。この地域活動見本市は、いろいろな団体が日ごろの活動内容を説明して、地域の活動やサークルに興味があっても参加するキッカケが見つからない方に参加の後押しをする活動である。一方で、我々にとっては新会員募集の貴重な場である。今回は久しぶりの参加となり、世話人一同新会員獲得のための絶好の機会と張り切って臨んだ。

開催当日は朝 9 時に会場集合。全 18 団体がそれぞれに工夫を凝らしたブースづくりをおこなって、雰囲気を盛り上げた。10　時の開会式では鈴木恒夫市長の挨拶があり、いよいよブースでの展示説明が始まった。最初はチラホラだった来場者もだんだんと増えて盛況になり、結局は 50 人程度がくげぬま探求クラブのブースに立ち寄ってくれた。また、その内20 名近くの方にはじっくりと活動内容の説明を聞いていただいた。中には 50～60 代の男性も数名おられ、またどういう訳か女性の方が熱心に話を聞いてくれたケースも何件かあって嬉しいことだった。

鵠沼公民館を拠点に活動している「藤沢合唱団」「写鵠会（しゃこうかい）」「ユニバーサルサイン　はなみずき」なども参加しており、他サークルとの交流もできてあっという間に　5　時間のイベントが終了した。向かいのブースで展示活動されていた方が、「元くげぬま探求クラブ会員の黒川の息子です」と、懐かしがって声をかけてくれたことも印象深かった。

来場者の多くが鵠沼地区からはやや遠く、新入会員の獲得に繋がるかどうかは未知数だが、10 名近くの会員も応援に来てくれて楽しくこのイベントに参加できたことが何よりの収穫だった。

活動再開の部会紹介

カラオケ部会

3 年ぶりに活動再開

新部会長　池田 雄一

カラオケ部会は、2020 年2 月以来、実に 3 年ぶりの開催となった。ゲストおよび初参加の 2 名を含め、参加した 6 名はやる気満々。アルコール飲料とつまみを買い揃えてカラオケルームに入ると、まずは久々の開催を祝して皆で乾杯。すぐに各々が得意の歌を熱唱するカラオケタイムへ。越路吹雪、谷村新司、加山雄三、石原裕次郎、長山洋子、長渕剛、サザンオールスターズ等々昔懐かしい曲に加え、バーチャルカラオケなる画面上のお気に入り女性とデュエット出来る曲まで、全員が大いに楽しんだ。終わって見れば、これまで達成不可能であった 50 曲制覇を超え 54 曲を歌い上げた。最後に全員で「今日の日はさようなら」を歌い、大満足のうちにお開きとなった。

なお、本年 3 月より部会長が成瀬さんから池田雄一に代わった。

談話室

右往左往の『談話室』

部会長　田中 力

当部会もコロナの影響で1 年４か月間休会していたが、早々に 2021 年 7 月から再開した。リモート流行りの中、直接会う事に飢えていたメンバーが多数集まった。

場所も密を避け「高松」から公民館へ移動し一杯飲みながらとはいかないものの以前と同様に後半は「極楽部会」との抱き合わせでかなり長丁場である。

相も変わらずナンダ、カンダと罪のない取り留めのない話が続きあまり実りのない話で終わるのが大半だが時には「30 周年記念行事の内容」や「新入会員募集」など真面目で前向きな話題もテーマに上る。しかしながら何かその場限りで終わる切なさと物足りなさを感じていたところ、誰とは無しに何かテーマを決めて談話室を進めていく（参加メンバーから順番に一つ話題を提供してもらう）という案が提示され心機一転昨年 6 月より再スタートした。

以降それぞれの話題は ①怪しいメールの概要と対策 ②北海道（旭川）を拠点に 20 日間に亘り軽自動車での夫婦旅 ③30 周年行事のクラブ員からの回答状況 ④稲盛和夫について ⑤公民館まつりの総括（古本市、手作りオモチャなど）⑥「やもをの会」の説明、断捨離について ⑦現役時代（旅行業）の苦労話 ⑧「人生がときめくかたづけの魔法」の著書を基にした話、と続いている。各メンバーのそれぞれの思いと個性が出て興味深い話題が毎回出ているように思う。

今後もあまり肩肘張らずに大いにしゃべりあって認知症にならないための基本である「人とのコミュニケーション」を大事にしていきながらこの談話室を続けていきたいと思っています。

地域活動部会紹介

おもちゃの病院

部会長　長谷川 元保

おもちゃの病院はコロナ発生以来様々な制約の中で 2 年にわたる開業を継続してきた。以前は患者が持ち込んだおもちゃをドクターが治療するところを見学するなど様々な交流があったが、コロナ以来患者受付と治療の部屋が分断され以前のような交流が出来なくなった。ドクターの塙さんがまとめた昨年のおもちゃの病院の状況は以下のようである。

『昨年は 24 回開院し、一日当たりの来院者数は 25.2 人、来院患者数は 12.7 人、退院患者数は 12.9 人、また完治率は 69%（前年度は 67%）であった。また入院患者の完治と改善を合わせた割合は 81%（前年度は　78%）であり、ドクターの技能向上の様子も伺える。おもちゃの種類別では「プラレール、学習おもちゃ、動くぬいぐるみ」が全体の　47%を占めた。ほかにラジコンに代表される電子デバイスの機器も多くドクターの技能向上が求められている。』

ドクターの仕事そのものは脳の活性化やボケ防止には極めて有効であり、また治ったおもちゃを受け取りに来た人の喜びを見ると報われた気がする。多くの新入ドクターの参加が期待される。

ドクターたちの活動状況

私　米寿です

西村 望

80 歳の時に ペースメーカを入れ、今日まで寝たきりにならずに人生を楽しめるとは私の人生計画の想定外の出来栄えです。これも くげぬま探求クラブを初め多くの事に興味を持ち色々と活動してきたからと、感謝しています。特に当クラブの地域活動部門で皆さんの協力のもとに健康を探求する会を立ち上げ、毎月「ゲンキの時間」のビデオを視聴し多くの健康に関する知識を得て、皆さんと一緒にストレッチをし、体験談などのオシャベリを楽しみ、生活のなかに その幾つかを取り入れた事は、健康生活に大変役立っていると確信しています。感謝！ 中でも、人生100 年時代100 歳まで歩ける法、筋肉筋力低下の恐怖、身体のリセット法、心のリセットなど　大変ユニークな健康維持に有用な事柄を学びました。体力は歳ともに衰えていくのは避けがたいですが、頭脳の方は鍛えれば鍛えるほど使えるようです。体力では勝負できませんが、頭はまだ使えるようです。まだやりたい事がドンドンと湧いてきます。サイエンス探求、経済探求などです。人生の終わりに、探求クラブの為にも、地域の為にも、幸せで健康な人生　100　年をめざして皆様と一緒に励みたいと思います。感謝！

皆様のご協力のもとに、今の私にできる小さなボランティアとして、地域活動部門の健康を探求する会を名実共に地域活動にまで育てて行きたいと考えています。感謝！

クラブ短信

1. 新型コロナの 5 類移行とともに我々の活動も活発化してきた。サロン会、探訪部会、企業研究部会、カラオケ部会など多くの部会活動が再開し、合わせて反省会や会食なども行われるようになった。4 月にはおひる探 Q 会の再開も予定されており、これですべての部会の活動が再開され る。また、今年度には 30 周年記念行事も数多く予定されており、3 年余りの活動自粛からようやく解放される。

「くげぬま探求クラブ」はあなたの入会をお待ちしています。
「会社人間から社会人間へ」を目指す方々は「発行人の坂口」までご連絡下さい。
ホームページアドレス http://kugenumatankyuclub.web.fc2.com/ 、
左の QR コードまたは「くげぬま探求」、「鵠沼探求」で検索してください。

～例会・各部会活動報告～

12月　December

○例会 3 日(土)34 名。1～3 月の会費徴収無しと決定。☆くぐひの会員以外への配布希望先の申請。☆忘年会開催予定通り。
○世話人会 11 月 30 日 5 名 12 月例会資料検討。
○アーカイブ委員会 17 日(土)7 名 各種資料の up 作業。
○くぐひ制作部 14 日(水) 11 名 くぐひ 112 号(令和 5 年新年号)の第三回編集会議、忘年会写真掲載決定。
○忘年会 19 日 17 時より 参加 29 名藤が谷市民の家にて 3 年振りに開催。2 時間の会員間の親睦が出来た。
○鵠沼松が岡公園愛護会 4 日 17 名、25 日 12 名。
○藤が谷公園愛護会 11 日 12 名(2)、28 日 6 名(1)。
○ヤングハーツ 7 日練習 楽器 6 名＋4 名☆5 日鵠洋児童館X マス会 楽器 5 名＋5 名☆16 日脳活倶楽部 楽器 4 名＋3 名 公民館ホール☆19 日亀吉 楽器 6 名
○おもちゃの病院 11 日 12 名(2) 来院 23 名、25 日 12 名(1) 来院 25 名、引取順調で 1 年を無事完了。
○子どもと遊ぶ会 21 日ミニ門松作り、探求 10 名、子供 24 名(予約制にて実施)
○鵠っ子囲碁・将棋ルーム 18 日 8 名 (2)　子供 13 名。
○災害研究部会 2 日 11 名(2)、町内会防災マニュアル。
○極楽部会 21 日 10 名 30 周年の健康講座を検討。
○健康を探求する会 22 日 5 名(1) 骨貯金等。
○サロン会 17 日 参加 12 名(2)寒さの中、集結歓談。
○健康部会 23 日参加 7 名 成就院、茅ケ崎里山公園
○農園部会 4 日7名、21 日6 名、新年度 2 地区を確保。
○談話室 21 日9 名 K さんの海外旅行案内の話題。
○ヤングブラザーズ 10 日 15 名(6)、24 日 17 名(7)、
○デジタル情報部会 26 日 19 名PDF、エクセル等。
○近代史を語る会 8 日 11 名(3) 二・二六事件
○なつかしの名盤愛好会 12 日 5 名
○似歌会 対面句会 8 名 兼題「紅葉」で 30 句
以下の委員会・部会は新型コロナ感染対策等のため休会
○30 周年記念行事委員会○メディア委員会･ＨＰ制作部
○探訪部会○カラオケ部会○企業研究部会○おひる探Ｑ会

1月　January

○例会 7 日(土) 33 名。2 月 4 日の地域見本市見学依頼。忘年会初参加の坂口さん、門田さんよりの感想。
○世話人会 1 月 5 日、5 名、例会資料の検討。
○30 周年委員会 25 日(水)7 名、各記念行事の進捗状況確認。一泊旅行、健康講座の実施日決定。
○アーカイブ委員会 21 日(土) 8 名。手持ちの紙資料のスキャン作業を進める。
○くぐひ制作部 11 日 9 名　第 113 号(令和 5 年春号)の第 1 回編集会議。
○鵠沼松が岡公園愛護会 8 日 12 名、22 日 10 名。清掃、30 周年記念の桜植樹を討議。
○藤が谷公園愛護会 8 日 9 名(2)清掃、水遣り。
○ヤングハーツ 5 日 6 名練習、16 日 5 名亀吉訪問演奏。
○おもちゃの病院 8 日 11 名(1) 来院 10 名、22 日 14 名(2) 来院 29 名。年明け早々も繁盛。
○鵠っ子囲碁・将棋ルーム 15 日 子ども 15 名、探求 7 名(2)、父母 2 名。
○災害研究部会 6日 16 名(4)。地区防災計画等。
○極楽部会 18 日 12 名。小山さんの「病気と人生」
○健康を探求する会 26 日 6 名(1)、身体のリセット法。
○サロン会 21 日 18 名(2)鵠南市民の家 おでんの会。
○健康部会 探訪部会合同 20 日 11 名 鎌倉七福神巡り。
○農園部会 8 日 7 名、農園引っ越しへの備え。
○談話室 18 日 13 名 片付け方について。
○近代史を語る会 12 日 11 名(3)、昭和時代第 27 回。
○デジタル情報部会 23 日 14 名 スマホのカメラ使用法。
○ヤングブラザーズ 13 日 14 名(5)、28 日 14 名(5)、Smile 練習、芭蕉布、遥かな友に、など練習。
○なつかしの名盤愛好会 9 日 4 名 ポピュラー音楽。
○似歌会 10 日(対面句会)7 名 30 句 兼題は「初春」
休会：○メディア委員会○ＨＰ制作部○子どもと遊ぶ会○企業研究部会○カラオケ部会○おひる探Ｑ会

2月　February

○例会 4 日(土) 33 名。退会者：長(1 月)、東田(2 月)、伊藤(3 月)、世話人選挙について説明。花見 4 月 3 日長久保公園にて開催予定。
○世話人会 1/26 世話人選挙打合せ、2/1 資料の検討
○アーカイブ委員会 18 日 8 名 スキャン作業継続。
○くぐひ制作部 8 日 11 名 第 113 号の 2 回目編集会
○30 周年記念行事委員会/メディア委員会/HP 制作部は休会
○ボウリング大会 8 日 12 名 (1) /江の島ボウリングセンター 優勝萩原、2 位小山、3 位東田さん、
○鵠沼松が岡公園愛護会 19 日 11 名、松葉など清掃
○藤が谷公園愛護会 12 日 10 名(2) 清掃。
○ヤングハーツ 1 日、18 日 練習、17 日脳活倶楽部、20 日亀吉。
○おもちゃの病院 12 日 13 名(2) 来院 17 名、26 日 13 名(2) 来院 30 名。2022 年活動実績の纏め。
○鵠っ子囲碁・将棋ルーム 19 日 子供 20 名(新人 3) 探求 7 名(2) 保護者 3 名 公民館 1 名。
○災害研究部会 3 日 10 名 (2)、わが家の耐震診断等。
○極楽部会 15 日 14 名 大木さんの定年後の人生。
○健康を探求する会 23 日 7 名(2)免疫力の向上法。
○サロン会 18 日 14 名(2) 飲食を共にする楽しみ。
○健康部会 24 日 11 名(2) 常立寺、新林公園の梅見。
○カラオケ部会 20 日 6 名(1)3 年ぶりの開催。
○農園部会 4 日 6 名、20 日 6 名、28 日 5 名。
○談話室 15 日 12 名 自分史エッセイの披露。
○ヤングブラザーズ 11 日 14 名(5)、25 日 15 名(7)。異パートの練習
○デジタル情報部会 27 日 16 名 LINE の使い方等
○近代史を語る会 9 日 11 名(3) 昭和時代の第 28 回
○なつかしの名盤愛好会 13 日 3 名楽しい時間を共有。
○俳句の部会「似歌会」8 名 対面句会で 30 句。
以下の部会は休会/○子どもと遊ぶ会○探訪部会○企業研究部会○おひる探Ｑ会

( )内はゲスト人数で内数

自　由　席
辻堂在住のあるご婦人からのメッセージ

田中 章

私の長年の友人で、現在は辻堂にお住まいの方から『くぐひ』前号（2023 年正月号）を読んだ感想が寄せられましたので、ご本人の了解を得て、紹介させて頂きます。彼女はお子さんの壊れた玩具を持っておもちゃの病院に来院されたり、鵠沼松が岡公園愛護会の活動を観にきてくれたこともあります。

「今回の『くぐひ』の読み応えがあることといったら！皆さんいろんな行事が再開されていることにとても嬉しそうな記事ばかりで、おもちゃ作りの大盛況で徹夜した話やサークルの再開話に、どれも文章が跳ねていて『嬉しい』が伝わってきました！

最後のページの品川に引っ越された方の記事を読んで、改めて探求クラブがいかに稀有な存在であるかと、それが30年続いている凄さを実感。背景には皆さんの日々のコミュニケーションだったり出来ることを惜しみなく出す貢献度の高さがあるのでは、と思いました。

あきらさんは近代史を語る会の新部会長ですよね。益々発展していきますように！私も来世は男性に生まれ変わって入会するとします。」

クラブ短信

2. ボウリング大会開催
   2 月 8 日、第 23 回クラブボウリング大会 2023 年春が開催された。初参加者もあり、参加者は久しぶりの 2 桁台 12 名。2 ゲーム合計によって競い合った結果、優勝 萩原さん、準優勝 小山さん、第 3 位 東田さんとなった。表彰式の後、全員でアルコール付き昼食。次回は 6 月 14 日の予定。
3. 春のお祝いミニコンサート 鵠洋児童館　（参加者 13 名 ゲスト 6 名）
   鵠洋児童館から声がかかりヤングハーツがバックバンドを担当して、3 月 8 日に開催。4 月から進級する小学生 30 人が賑やかに集合。歌はボディ・パーカッション付きの「勇気 100%」がメイン。「カエルの歌」の輪唱、カスタネットやトーチも使ってのコンサートによい子たちの目がキラキラ。ヤングハーツの面々も自分の楽器を紹介したりして、最後はい～つのことだか‥の「思い出のアルバム」で締めた。春、本番。

編集後記 2 年ぶりに新世話人体制が決定した。巻頭には新世話人代表の思いをご披露して頂いた。
続いて今まで 2 年間世話人を務めていただいた方々より一言ずつコメントを。
今年 30 周年を迎える当クラブの関連行事については同記念行事委員会委員長の田中章さんより、その全体像について紹介して頂いた。部会紹介のコーナーでは探訪部会と健康部会の合同行事「鎌倉七福神めぐり」につき吉原さんから報告。談話室の近況を田中力さんが紹介。また活動を再開し、部会長の交代もあったカラオケ部会について新部会長の池田雄一さんから紹介。藤沢市役所本庁舎のロビーで開催された「第 17 回地域活動見本市」の報告は大木さんから。今年米寿の西村さんからは近況報告。おもちゃの病院の過去 1 年間の活動状況については長谷川部会長より紹介された。たまたま「くぐひ」をご覧になり当クラブを好意的に評価して頂いた方のメッセージを田中章さんが紹介。本号は多彩な記事満載でした。　（塩爺）

会報 くぐひ 第 113 号
2023 年 4 月 1 日
発行 くげぬま探求クラブ
発行人 坂口 純則
編集長 塩川 昌男